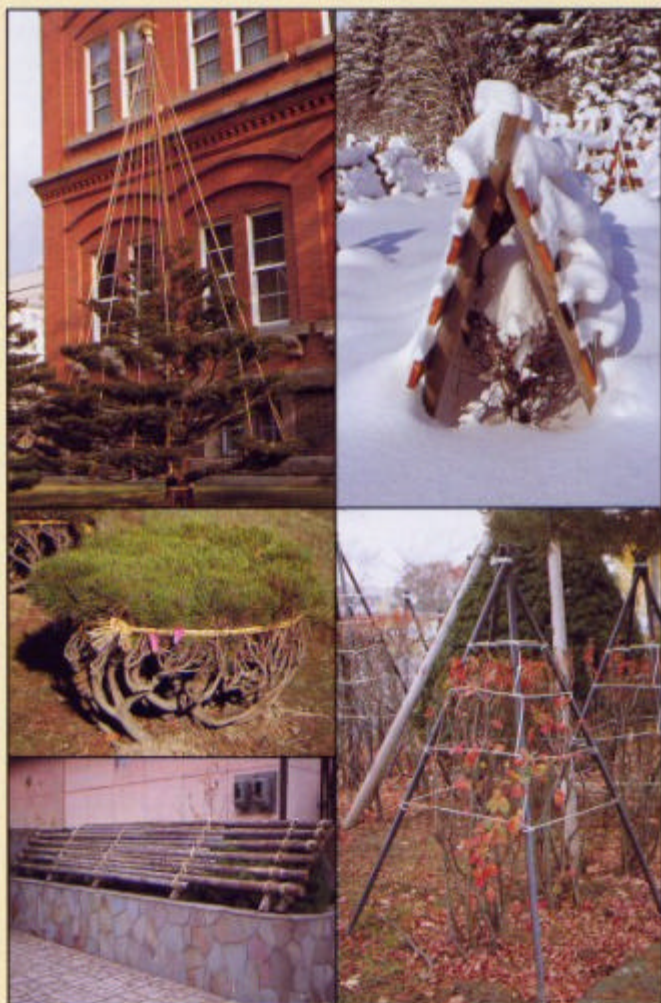




グリーンメール No.10

庭木の冬囲い



北海道立林業試験場 緑化樹センター

HOKKAIDO FORESTRY RESEARCH INSTITUTE
GREENERY RESEARCH AND INFORMATION CENTER

冬囲いの目的

- 1 雪の重みによる枝や幹の折れを防ぐ
- 2 冬の乾いた寒い風による被害を防ぐ
- 3 耐寒性の弱い植物を寒さから守る

冬の気候と樹木の被害

雪の多い地域(主に北海道西部から中央部)

雪の重み

支柱や枝吊りによる雪の重みの軽減

- 枝が折れる
- 枝が付け根から抜ける(枝抜け)
- 幹が折れる

積雪による被害



雪の少ない地域(主に北海道東部)

土壌凍結と乾燥した風

ムシロ等による風当たり軽減

- 根から水が吸収できない
- 葉枝からの強制脱水

枯損、衰弱



冬囲いの時期

- 実施時期 寒さの早い地域・・・11月下旬
それ以外の地域・・・12月上～中旬
- 取外し時期 雪害防止の支柱や板・・・翌年4月上～中旬
寒害防止のムシロ等・・・翌年4月中～下旬

注意 樹木の耐寒性と冬囲い

樹木は冬の初めに寒さにあたりながら耐寒性を強めていきます。ムシロやコモによる冬囲いを行う前に、自然の寒さにあてて、十分な耐寒性をつけます。

積雪による被害を防ぐ冬囲い

高い樹木

通常、樹高3m以上の落葉樹は冬囲いを行いません。



冬囲いを行う

- 枝先に葉が残る形に刈込みした樹木
- 雪が特に多くたまる所に植えられた樹木
- 雪に埋まる高さには枝が出ている樹木



枝を吊るときは、枝先から3分の1程度のところに縄を結びます。

生垣



支柱を八の字に組んで生垣の上で縛ります。



積雪の多い場所では、支柱と板を併用します。

上部を細く刈り込んで、断面を台形に仕立てると、雪の載る面積が小さくなり、形の乱れが少なくなります。

低い樹木



縄で束ねた冬囲い



縄と支柱による冬囲い



苗木の冬囲い
苗木の近くに支柱を立て、枝先まで幹を固定します。



刈込みの冬囲い
形の崩れを防ぐため、株を縄で束ねて小さくし、支柱で補強します。

低い樹木の冬囲いの手順



1 縄で株を束ねて、木の上に乗る雪を少なくします。



2 支柱を地面に刺し、木の上でまとめて縛ります。



3 支柱の上の方から縄で巻きます。

寒風による被害を防ぐ冬囲い



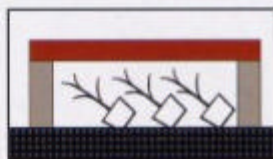
常緑針葉樹や暖地産樹木では、寒さの被害を受けやすいので、ムシロやコモ等で覆って、寒風を軽減します。



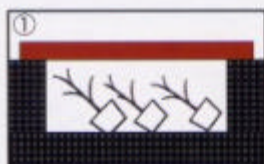
積雪の下になる部分は、蒸れるので、ムシロ等をかけないようにします。

鉢に植えられた樹木の冬囲い

積雪による被害を防ぐ
鉢の周りに台を置いた上に板を渡します。



寒風による被害を防ぐ
①地面を掘ってム口を作り、鉢ごと埋めます。
②鉢を斜めにねかせてムシロ等で覆います。



冬囲いの留意点

- 植栽後1年未満の樹木は、根の発達が不十分なので、雪や寒さの被害を受けやすいため、丁寧な冬囲いをします。
- 冬囲いを行った場合でも、その上に雪が多量に積もった時は、除雪して、雪の重さを軽減します。
- 多雪地域でも、常に除雪されて地面が出ている所では、寒風害が起こり、雪の少ない地域でも、除雪された雪が積まれる所では雪害が起こります。樹木の植えられた場所に合わせた対策が必要です。

緑化樹センターの位置



- 函館本線光珠内駅下車 徒歩10分
- 国道12号線中央バス専大入口下車 徒歩8分



グリーンダイヤルは あなたのダイヤルです。

「緑化樹」や「緑を育てる」質問・相談をお受けしています。
お気軽に電話してください。すばやく、詳細な情報をお届けします。

連絡先

緑化樹センター(林業試験場) TEL01266-3-4164 FAX01266-3-4166
林業試験場 道南支場 TEL0138-47-1024 FAX0138-47-1024
林業試験場 道東支場 TEL01566-4-5434 FAX01566-4-5434
林業試験場 道北支場 TEL01656-7-2164 FAX01656-7-2164
ホームページ <http://www.hfri.bibai.hokkaido.jp/>

試される大地
北海道

発行年月 平成15年9月
編集・発行 北海道立林業試験場 緑化樹センター
〒079-0198
北海道美瑛市光珠内町東山